

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

<p>①チーム名 (呼称)</p>	<p>府中町家庭教育支援チーム「くすのき」 (呼称:くすのき) URL : https://www.town.fuchu.hiroshima.jp/site/education/2544.html</p>
<p>②活動拠点</p>	<p>安芸府中生涯学習センター くすのきプラザ</p>
<p>③活動範囲</p>	<p>町内全域</p>
<p>④組織体制</p>	<p>155人</p> <p>コーディネーター 5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任児童委員 ・人権擁護委員 ・社会教育委員 ・公民館運営審議員 ・元教員 <p>ファシリテーター 155人(コーディネーター5人を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員 ・社会教育委員 ・民生委員 ・児童委員 ・公民館運営審議員 ・学校支援地域本部コーディネーター ・子育て支援センター保育士 ・放課後子供教室ボランティア ・元教員 ・PTA役員 ・町職員 ・その他  <p style="text-align: center;">コーディネーター</p>
<p>⑤活動開始年度</p>	<p>平成24年度</p>
<p>⑥問合せ先 【公表可能な連絡先】</p>	<p>(部署・氏名等) 府中町教育委員会事務局社会教育課 (TEL)082-286-3272 (E-mail) syakaikyouikuka@town.fuchu.hiroshima.jp</p>

(2)活動内容について

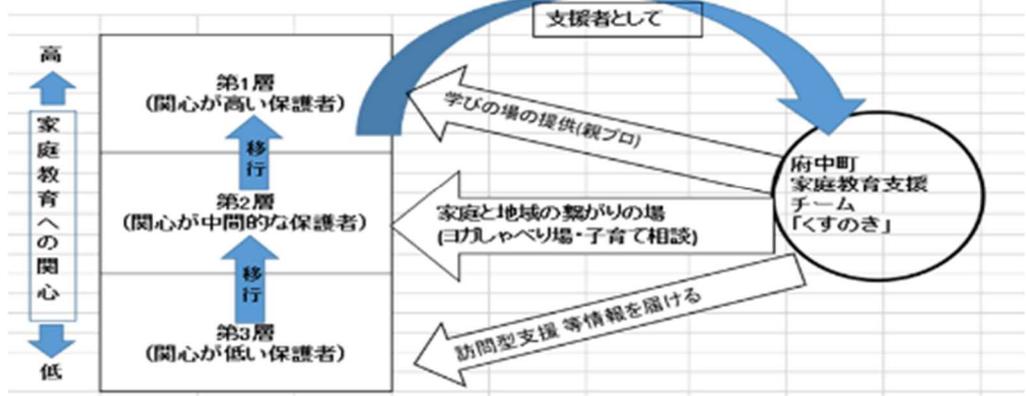
<p>①活動形態 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>保護者等への学びの場の提供</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>保護者等への地域の居場所づくり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)</p> <p><input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他(児童センターでの子育て相談、乳幼児健診等での託児、不登校児童生徒の親の支援)</p>
<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上</p> <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

③活動内容

【具体的な活動内容】

1. 『親の力』をまなびあう学習プログラム(通称 親プロ)を活用した出前講座
 - 講座実施機関の開拓
 - ファシリテーター(進行役)の養成、ステップアップ研修
 - 地域課題を踏まえた独自教材の作成
2. コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ教室&しゃべり場」
3. 子育て相談(フリートーク)
4. 不登校児童生徒の保護者への支援
「カフェくすのき」「親どうしが語り合う会」
5. 広報活動
6. 託児サービス及び各種研修会の講師等

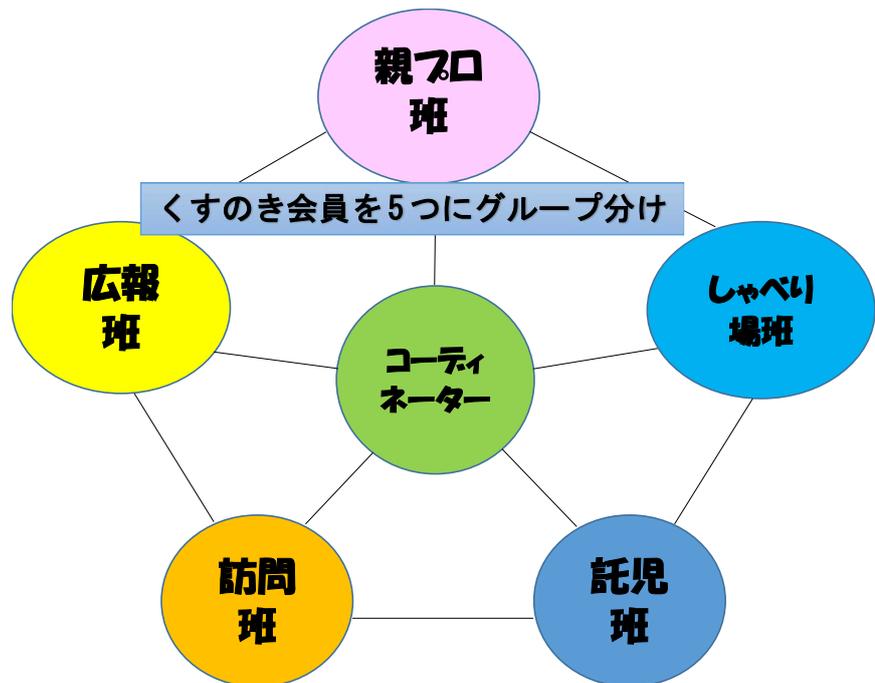
家庭教育支援の支援イメージ図



家庭教育支援チームの組織編成

④活動の成果
(活動実績がある
場合)

1. 『親の力』をまなびあう学習プログラム(通称 親プロ)を活用した出前講座



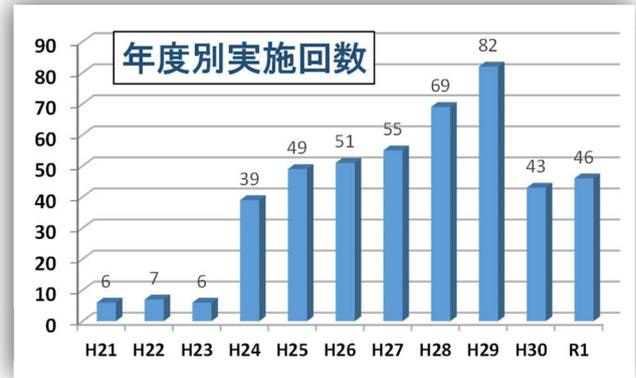
●講座実施機関の開拓

実施回数、受講者数

【平成 29 年度実績】	82 回	1,728 名
【平成 30 年度実績】	43 回	1,023 名
【令和元年度実績】	46 回	961 名

主な実施場所

- ・ 保育園
- ・ 幼稚園
- ・ 小学校
- ・ 中学校
- ・ 高等学校
- ・ 放課後子供教室
- ・ 公民館
- ・ 子育て支援センター
- ・ 子育てサークル
- ・ その他



⇒小中学校との連携や各種団体等への働きかけ等により、年々、講座の実施回数及び受講者数ともに増加している。

(※H30 は災害の影響等あり、R1 はコロナ感染症の影響等あり)

●ファシリテーター(進行役)の養成、ステップアップ研修

ファシリテーター養成総数 155 名 【令和2年度現在】

(内訳)

- ・ 教育委員 ・ 社会教育委員
- ・ 民生委員 ・ 児童委員
- ・ 学校支援地域本部コーディネーター
- ・ 子育て支援センター保育士
- ・ 放課後子ども教室ボランティア
- ・ P T A本部役員
- ・ 自主サークル会員
- ・ 行政職員
- ・ 一般(公募)
- ・ その他(県・他市町職員)



⇒府中町ホームページへ募集案内の掲載や、チラシの作成等により、平成24年当時の目標を上回ることができたので、近年ではファシリテーターの資質向上に力を入れている。

●地域課題を踏まえた独自教材の作成

教材1 イヤイヤエーン！エーン！（0～2歳の親を対象）

教材2 鬼は外～福は内！？（3～6歳の親を対象）

教材3 はやく、宿題やりなさい！！
（小学校1～3年生の親を対象）

教材4 寛太くんは青春真ただ中！？
（小学校高学年～中学生の親を対象）

教材5 ただ今 ゲームに夢中！！
（小学校4～6年生の親を対象）

教材6 朝ごはんを食べよう！・・・レベル1と2
（未就学児の親を対象）

教材7 「寝る子は育つ」ってホント！？
（未就学児の親を対象）

教材8 スマホに子守りをさせてませんか！？
（未就学児の親を対象）

教材9 「遊ぶ」って、どんなこと？（0～2歳の親を対象）

親コミ 「ちゃんとしてね！」で伝わってる？（幼児期の親を対象）



⇒実施後の振り返りや受講者からの意見を反映し、地域にとって重要なテーマの教材を生み出すことができている。

2. コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ教室&しゃべり場」



ヨガ後、
しゃべり場
（月1回）

⇒認知度が高まり、参加者が増えた。また、参加者からは「小学校へあがる不安が解消された」などの声が聞かれた。

（※コロナ感染症対策期間中は、しゃべり場のみ実施）

3. 子育て相談(フリートーク)



南北の児童センターを
訪問して子育て相談
（月1回程度）

⇒認知度が高まり、参加者が増えた。また、参加者からは「ちょっとした心配ごとを聴いてもらえてうれしい」などの声が聞かれた。

4. 不登校児童生徒の保護者への支援「カフェくすのき」「親どうしが語り合う会」



平成 29 年 11 月から開始
『クラフト&しゃべり場』を組み合わせた
不登校支援カフェの定期開催(月 1 回)

- ・親子での参加が可能
手芸・工作・カラーセラピー
アロマクラフトなどの後、
お茶を飲みながら話す会。
- ・学校からチラシを配布してもらっている。



希望者は『親どうしが語り合う会』(月 1 回)への参加も可能

- ・支えあい、励ましあえるような交流会や、不登校について勉強できるような学びの場。参加者の希望に基づき、講師を招いたり、講演会をしている。
- ・『カフェくすのき』に参加された方に開催の情報を提供。
- ・参加者は保護者のみ。

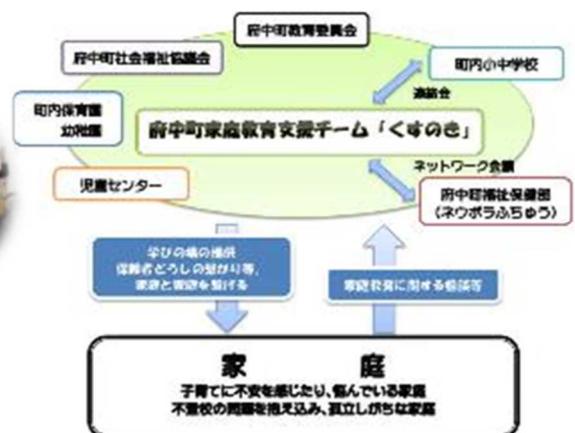


グループカウンセリングの様子

※コーディネーターも心理カウンセラー資格取得など専門性の強化をしている。



講演会



⇒回数を重ねることで繋がりができ、定期的に参加する保護者が増えた。
参加者の要望にお応えし、講演会を開催することができた。

5. 広報活動

家庭教育支援チーム「くすのき」の会報誌を作成
定期的に、活動内容や活動予定などを
チームの皆さんへ配付している。

⇒皆さんのご協力により、通信を発行する
ことができた。活動内容や活動予定など
を共有することで、チームの一員としての
繋がりを実感することができている。



6. 託児サービス及び各種研修会の講師等



※裏面には
チームの連絡先

- ・関心を持ってもらうために、広島東洋カープの協力を得て、“カープ坊や”や“スライリー”をあしらった『乳幼児期』『学童期』『思春期』の3タイプを作成。裏面には家庭教育支援チームの連絡先を記載。
- ・令和元年1月より生後9か月検診で『乳幼児期』シートを配布開始。
- ・『学童期』『思春期』は小中学校入学式で新入生の保護者に配布。

⇒託児サービスを行うことで講座等への参加者が増加した。また、各種研修会等の講師等を務めることで各種団体との連携が生まれたり、メンバー自身の資質向上につながっている。

⑤活動財源
(複数チェック可能)

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(イオングループイエローシートキャンペーン助成)